


HTTPS 安全環境

「日本語」の学びなおしに  令和6(2024)年度第2回
一般会場:11/9(土)
 特定非営利活動法人 日本語検定委員会

時事ドットコムニュース > 特集 > 「レッドライン」越えたウクライナ ロシア「核の脅し」は杞憂なのか◇エコ...

会員限定記事

「レッドライン」越えたウクライナ ロシア「核の脅し」は杞憂なのか◇エコノミスト 西谷公明【コメントライナー】

2024年09月26日11時00分

X f B!




ロシアが戦略核戦力部隊の演習で発射した大陸間弾道ミサイル（ICBM）「ヤルス」= 2023年10月25日、ロシア国防省提供（EPA時事）

2024年夏、ウクライナ軍は、何のためにロシア西部クルスク州へ越境侵攻したのか。ウクライナ首都キーウの政権幹部から折々に発せられる声明は、「西側パートナー」に宛てた弁明のように聞こえてならない。

ロシアと西側、両方を試す

急襲の隠れた意図が、ロシアを試すと同時に、アメリカと西側を試すことだったことは今や明らかだ。ウクライナ軍は、西側兵器を使ってロシア本土を攻撃した。ロシアのプーチン大統領が主張する「レッドライン」をあざ笑うかのように、やすやすと越えてみせた。

9月10日には、モスクワ州が大規模なドローン攻撃に見舞われた。州内の高層住宅が炎上、損壊し、シエレメチェヴォを含む首都モスクワの4空港が一時閉鎖された。

東京 **オールジェンダートイレ事情**
 誰もが使いやすいトイレを目指して試行錯誤 普及に向けた取り組みとは
 詳細はこちら▶ 

WEBマンガ（火・金更新）

うじうじ & milk の NFT 日記 

覇権争い、温暖化の最前線

66°33'N **北極が教える未来** 

連載小説【第81回】総理後継

オペレーションF **真山仁**
 OPERATION:F MAYAMA JIN 

ピックアップ

 突出の大谷とジャッジ	 敗れてもこれが最後	 仮設住宅 大雨で浸水	 疑惑、進まぬ解明
 福田和也さん死去	 うまい棒 値上げ	 魚大量死 非常事態	 自民と教団 新たな火種
 佳子さま 手話甲子園	 干ばつでゾウ食用に	 珍しい決まり手	 名前は「豚肉団子」?

f 時事通信のSNS

アクセスランキング 会員限定

一覧へ

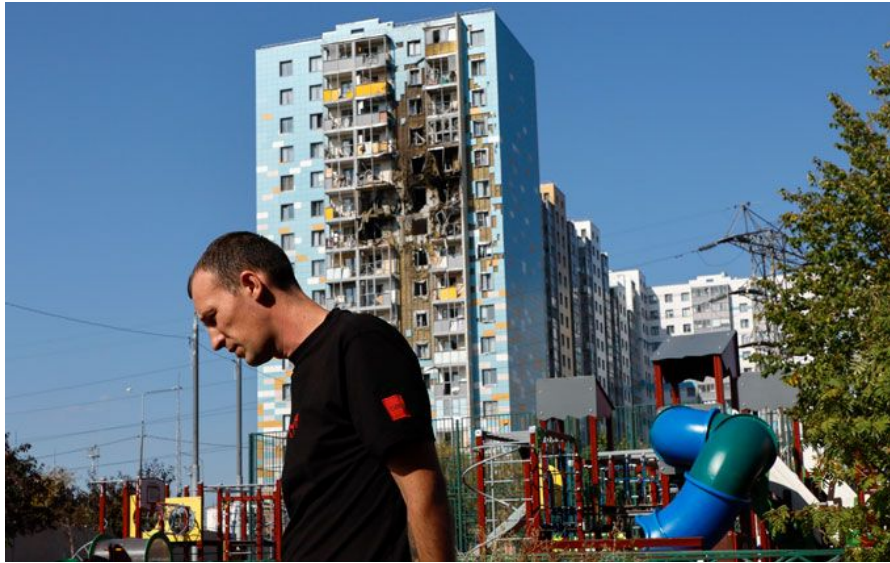
1 プーチン氏、領土占領され「パニック」 ロシア軍に不穏な動きも▽拓殖大学海外事情研究所客員教授 名越健郎【コメントライナー】



2 「誠意見せる」とAI 激高?? カスハラを疑似体験、ツールで心の準備



HTTPS テスト環境



ドローン攻撃で破壊されたモスクワ州ラメンスコエの集合住宅 = 2024年9月10日、ロシア・ラメンスコエ (EPA時事)

ウクライナは、ロシアによる「核の脅し」が恐れるに足りない「はったり」であることをアメリカと西側に示しつつ、供与された兵器の使用制限を解除させたい意図を隠さない。ウクライナのゼレンスキー大統領はアメリカと西側首脳に、ロシア領内への長距離ミサイルによる攻撃を認めるよう求めている。

現実味乏しい「出口」シナリオ

今のところ、アメリカのバイデン大統領は、回答をあえて留保しているように見える。思い起されるのは、6月に南イタリアのプーリア州で開催された先進7カ国首脳会議（G7サミット）だ。

いわく、「力による領土の侵害を許さない」「プーチンのロシアに勝たせてはならない」「ウクライナを支援する我々の団結は揺るぎない」などなど。丸テーブルを囲んだ首脳たちは口々に勇ましく語り、必要とされる限り、長期的に支援していくことをゼレンスキー大統領の前で約束した。



G7サミットで円卓を囲んで話し合う各国首脳ら = 2024年6月13日、イタリア・プーリア州 (AFP時事)

アメリカと西側の問題は、戦争のこれ以上のエスカレーションを望まないと、誰もが判

【けいざい百景】

3 シン・総裁選は「菅 v s 麻生」 石破・小泉・高市デッドヒートの裏側で…【解説委員室から】



4 新たな円高リスクに備えよ！◆日本企業の海外留保益11兆円の巻き戻しが始まる (元外資系証券FXストラテジスト・梅本徹)



5 「経験」か、それとも「世代交代」か 自民総裁選を元事務局長・久米晃氏に聞く【解説委員室から】



人気記事

一覧へ

「学びを隠す」ワケ 応援する企業も

プーチン氏パニック 軍に不穏な動きも

世界最高の資質とは 快進撃 大谷翔平

見過ごせぬ別の問題 知事告発の兵庫県

今日は何の日？



2008年

トキ10羽、野生復帰 目指し放鳥

#TOKYO UPDATES



都市のゴミ削減に貢献する、IoTスマートゴミ箱とは？(PR)

特集 | TOKYO UPDATES

#経済安全保障

HTTPS://KIN4環境

で押したように言いながら、ウクライナが勝つこと以外に、この戦争を終えるための「出口」を持たないことだ。実際にロシアによる侵攻から2年半の間、ウクライナ側の粘り腰に押し切られる形で、先端的な戦車や戦闘機、長距離ミサイルなどを次々に供与してきた。

真の狙いはロシアの原発か

果たして、「核の脅し」は杞憂（きゆう）にすぎないのか？ プーチン大統領に「核を使う勇氣」などそもそもないのか？ そのことが分かるまでロシアを試してしまってからでは手遅れになるというのが、この問題の「リアルな本質」にほかならない。

ところで、越境侵攻の真の狙いが、ロシア最大級のクルスク原子力発電所の占拠にあったとしたらどうだろう。クルスク原発を「人質」に取り、クレムリンの喉元に匕首（あいくち）を突き付けて、ウクライナの土俵へロシアを停戦交渉に引きずり込もうとしたのなら…。



I A E A のグロッシ事務局長が視察したクルスク原子力発電所 = 2024年8月27日、ロシア・クルスク州 (AFP時事)

真相は定かではない。ロシア政府は、事態の急を国際原子力機関（I A E A）に通報した。8月26日には、I A E A のグロッシ事務局長が調査団を率いてクルスク原発を視察した。ロシア側はウクライナ軍から原発を守るように長い塹壕（ざんごう）を掘った。

かたやロシアは、ウクライナ中部のザポリージャ原発を支配下に置いている。核の脅威は現に存在する。その限りで、「新冷戦」とも呼べるこの戦争は「凍結」するしかないと思う。

（時事通信社「コメントライナー」を加筆修正しました）

【筆者紹介】西谷 公明（にしたに ともあき）1953年生まれ。長銀総合研究所、在ウクライナ日本大使館専門調査員を経て、1999年トヨタ自動車入社。2004～2009年にロシアトヨタ社長兼モスクワ駐在員室長を務める。国際経済研究所取締役・理事、シニア・フェローを経て、2018年N & Rアソシエイツ設立、代表に就任。著書に「ロシアトヨタ戦記」「ウクライナ 通貨誕生—独立の命運を賭けた闘い」など。

「経済合理性では説明できない事態を直視した、実効性のあるリスクマネジメント経営を」

特集 | **ECONOSEC JAPAN**

きょうの日本語検定 正しいのはどれ？

【当てはまる言葉は？】
 相手は先輩とはいえ、言われればなしのまま引き下がるのは（ ）だ。
 [2級]

- A. 業腹
- B. 酔狂
- C. 小癪

日本語大賞決定！

#神奈川県私大医学部特集 (PR)

医学部志望の受験生必見！

神奈川県私大医学部特集

2024

Special Contents
学生座談会